

会社概要 (2021年3月31日現在)

社名 株式会社シーボン
(英文: C' BON COSMETICS Co.,Ltd.)

設立 1966年1月24日
本店 〒106-8556
東京都港区六本木七丁目18番12号

メインオフィス 〒216-8556
神奈川県川崎市宮前区菅生一丁目20番8号

資本金 4億8,393万円
従業員数 連結971名 ※パート社員を除く
主な事業所 生産センター／研究開発センター
直営店 フェイシャルサロンの100店舗
その他5店舗

役員 (2021年6月25日現在)

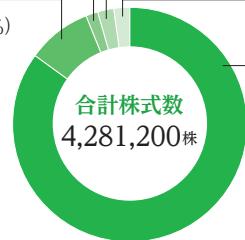
代表取締役会長	犬塚 雅大	常勤監査役	中沢ひろみ
代表取締役社長	崎山 一弘	監査役(社外)	伊藤 三奈
取締役執行役員	菅原 桂子	監査役(社外)	立川 正人
取締役執行役員	瀧 礼江	執行役員	堀住 輝男
取締役(社外)	岩田 功	執行役員	松本 裕右
取締役(社外)	黒木 彰子		

株式状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,000,000株
発行済株式の総数 4,281,200株
株主数 15,182名

所有者別株式分布状況 (2021年3月31日現在)

外国法人等	96,468株(2.3%)
個人・その他	3,645,111株(85.1%)
金融商品取引業者	88,403株(2.1%)
金融機関	386,400株(9.0%)
その他国内法人	64,818株(1.5%)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

剰余金の配当基準日 3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-782-031 (通話料無料)

公告方法 電子公告により行います。

公告掲載URL
<https://www.cbon.co.jp/company/>
ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

UD FONT by MORISAWA 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。



株式会社シーボン

Tel. 044-979-1234(代表) Fax. 044-979-1235
ホームページアドレス: <https://www.cbon.co.jp>



C'BON

To create and produce the beauty

第56期 決算報告

2020年4月1日~2021年3月31日

P4~6
営業のご報告

P7~8
財務情報

P9~10
トピックス

55周年記念製品

「シーボン
ルミナスバイオセラム」



C'BON BUSINESS REPORT

コード: 4926

C'BON NEWS FLASH

2020.4~2021.3

詳しい情報はこちら

www.cbon.co.jp



ハンドリフレッシャー A70



シーボン コンセントレートプラス
ディープクリアフォームP
(プルメリアの香り)

5月 SPA PJ-AST 限定発売
ハンドリフレッシャー A70
(クリニメディック) 発売

8月 SPA BLANC-C 限定発売
シーボン コンセントレートプラス
ディープクリアフォームP
(プルメリアの香り) 限定発売

10月 C'BON 55周年記念製品
シーボン コンセントレートプラス
バイタルクリームa 発売
フェイシャルリスト トライアルセット 発売
シーボン エッセンシャルオイル
天然木曽ひのき 発売

11月 SPA 3D 限定発売

12月 シーボン 酵素美人一金 限定発売

1月 C'BON 55周年記念製品
シーボン ルミナスバイオセラム 限定発売

C'BON 55周年記念製品
フェイシャルリスト トリートメントマセ
アロマ (ローズの香り) 限定発売
セラミー ピュアプラス 発売

2月 発酵*チアシード蒟蒻ゼリー
シークワサー味・ざくろ味 発売 *発酵果汁使用
カラフルール モイスチャー3Dセラム 発売

3月 C'BON 55周年記念製品
シーボン コンセントレートプラス
クリームa 発売

C'BON 55周年記念製品
シーボン グロウリフト 限定発売

C'BON 55周年記念製品
シーボン ナノグロウミスト 発売



シーボン 酵素美人一金



シーボン
ルミナス
バイオセラム

フェイシャルリスト
トリートメントマセ
アロマ (ローズの香り)



発酵チアシード
蒟蒻ゼリー
シークワサー味

ざくろ味



カラフルール
モイスチャー3Dセラム

シーボン
コンセントレートプラス クリームa



シーボン コンセントレートプラス バイタルクリームa



SPA 3D



代表取締役会長
犬塚 雅大

代表取締役社長 執行役員
崎山 一弘

当社は、コロナ禍における早期業績回復に向けた体制強化、そして将来に向けたさらなる成長と企業価値の向上のため、4月1日付で新たな経営体制に移行し、代表取締役会長兼社長 執行役員の犬塚雅大が代表取締役会長に、専務取締役 執行役員の崎山一弘が代表取締役社長 執行役員となりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により世の中の生活様式や価値観が大きく変化しています。今後は「お客様との繋がり」が、化粧品業界に限らず、すべての業種業態において、更に大きなテーマになっていきます。

当社は、「美を創造し、演出する」という企業理念のもと、お客様の肌に最後まで責任を持つ、という想いで製品づくりと販売を行ってまいりました。これは、私たちが守り続けてきた創業者の教えでもあります。

今後も、この本質的な考えを変えず、一番大切なものとして捉え、お客様に対して、製品から得られる価値、接客サービスから得られる価値を高めていくために、自分たちに何ができるかを追求し続けていくことのできる組織であり続けます。

2021年3月期の業績

コロナ禍の長期化による売上高の減少が響き、最終赤字を余儀なくされました。

2021年3月期の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって大きな影響を受けました。当社においても、4月中旬以降の緊急事態宣言下には**直営店舗の臨時休業や新規集客活動の全面自粛を余儀なくされる**など、非常に厳しい事業環境となりました。

こうした中、当社グループは、**2020年からスタートした中期経営計画**（2021年3月期から2023年3月期）のもと、「事業本部」「商品開発本部」「管理本部」の3本部がそれぞれ、「**顧客数拡大とお客様第一のサービス提供**」「**高機能製品の創出**」「**コスト合理化の徹底**」の重点実行項目に取り組み、業績回復に全力を尽くしました。

また、直営店舗での新型コロナウイルス感染症対策としましては、徹底した感染予防対策を実施するとともに、非接触型フェイシャルケアサービスの導入、Web検索・予約サイトを利用した新規集客などに注力し、幅広い顧客層の獲得を図りました。しかしながら、感染症に対する不安や外出自粛の影響は大きく、**新規顧客、既存顧客共に来店数の減少**をもたらしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高は9,101百万円（前年同期比18.0%減）となりました。利益面におきましては、広告宣伝費等の販売費及び一般管理費の合理化に努めましたが、売上高の減少による利益減を補いきれず、営業損失は903百万円（前年同期は営業損失318百万円）となり、雇用調整助成金による

営業外収益325百万円を計上したことから、経常損失は509百万円（前年同期は経常損失270百万円）となりました。また、店舗に関連する固定資産の減損損失63百万円を特別損失として計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は621百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失1,070百万円）となりました。

2021年3月期の主な取組み

中期経営計画に掲げた3つの重点実行項目を中心に、業績改善に取り組みました。

2021年3月期は、先ほどご紹介した中期経営計画に掲げた3つの重点実行項目を中心に、業績の回復、組織基盤の強化に取り組みました。「**顧客数拡大とお客様第一のサービス提供**」については、これまでイベントプロモーション*が主軸であった**新規集客活動を、Web検索・予約サイトを利用した手法へとシフトするとともに、プロ仕様の美顔器を導入した新たなメニューの提供やトライアルセットの販売によって、幅広い顧客層へアプローチいたしました。また、ECをはじめとした新たな販路獲得に向け、化粧品や健康食品などの開発を進めました。このほか、「巣ごもり需要」への対応として、公式YouTubeでの動画配信やオンラインによる無料カウンセリングを開始いたしました。**

「**高機能製品の創出**」については、**皮膚科学研究に基づいた独自原料開発やその有効性の解明**などに取り組み、ストレスによる肌トラブルの新たなメカニズムなどを発見し、学会などに報告いたしました。「**コスト合理化**

の徹底」に関しては、事業活動の「見える化」を推進し、管理体制強化を図るとともに、全社のコスト管理の徹底とコスト構造改革を積極的に行い、業務プロセスの適正化・効率化、業務生産性の向上を図りました。

※新規顧客獲得のために、サロンのトライアルプランにご予約いただけるようイベントブース等でシーボンを紹介する活動。

2022年3月期の取組みについて

新たな経営体制のもと、黒字転換を目指してまいります。

2022年3月期も引き続き新型コロナウイルスへの感染予防対策を徹底し、お客様とスタッフの健康と安全を第

一に考えながら、新たな経営体制のもとで中期経営計画に掲げた3つの重点実行項目に取組み、再成長を目指してまいります。

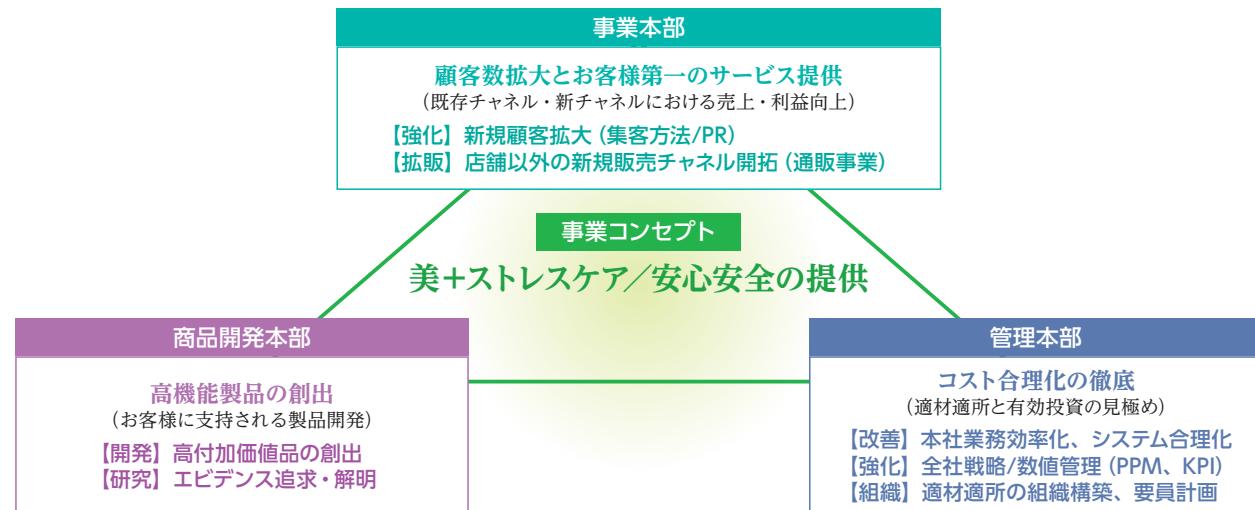
「顧客数拡大とお客様第一のサービス提供」においては、「一人ひとりのお客様と繋がること」を大きなテーマとし、SNSをはじめとしたデジタルツール活用による情報発信の強化や、オンラインによる無料カウンセリングを活用した通販事業の強化など、サロン経営の強みを活かした「個客」との強固な関係を構築してまいります。

「高機能製品の創出」においては、引き続き研究開発活動に注力するとともに、美容法のエビデンスの収集な

中期経営計画 重点実行項目 (2021年3月期～2023年3月期)

3本部制に組織変更し、各本部に明確な権限と責任を付与

業績回復に向けて組織基盤を強化し、スピード感と実行力ある事業を推進



ど社内だけではなく外部研究機関との連携を積極的に図ってまいります。また、社内で培った技術力を活かし、OEM受託などの新たな取組みを行ってまいります。「コスト合理化の徹底」に向けては、管理体制のさらなる強化を図るとともに、全社のコスト管理の徹底と、費用対効果を十分に検討した上での有効投資を積極的に行ってまいります。

中期経営計画 連結数値目標



営業利益・営業利益率



2022年3月期の連結業績につきましては、売上高は10,733百万円、営業利益は141百万円、経常利益は171百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は51百万円と予想しております。厳しい事業環境が予想されますが、収益回復に全力を尽くし、黒字転換の実現を目指してまいります。

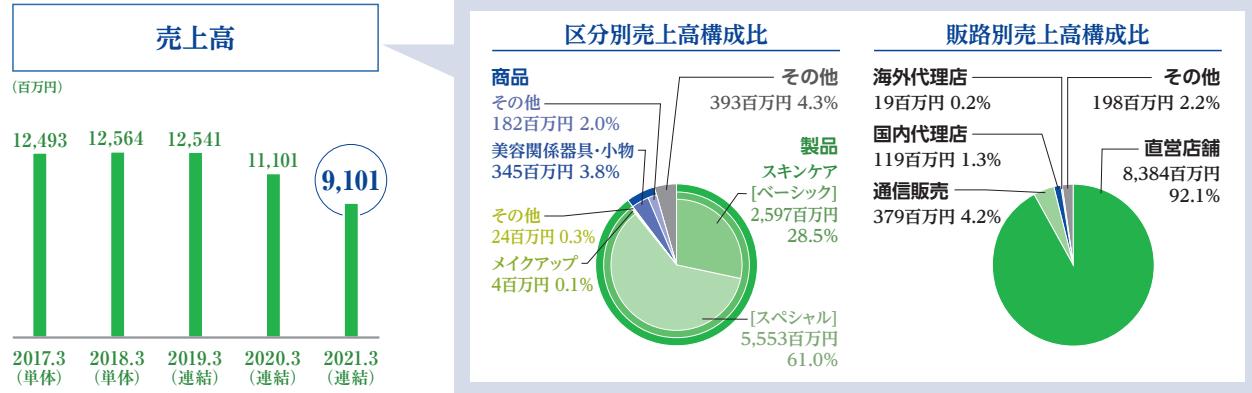
利益還元方針について

2021年3月期は無配とさせていただきます。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、将来の事業展開と経営体制の強化のために必要な内部留保を確保するとともに、安定的な配当を業績に応じて行うことを基本方針としております。こうした方針に基づき、2021年3月期は厳しい業績を受け、誠に遺憾ながら年間配当を無配とさせていただきます。株主の皆様にご迷惑を申し上げます。株主の皆様にご理解賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月期の配当計画につきましては、現時点では未定とさせていただいております。開示が可能となった時点で速やかに公表いたしますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※当社は、2019年3月期より連結財務諸表を作成しております。



Point

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、イベントプロモーションによる集客数減少や店舗への来店自粛、フェイシャルケアサービスへの不安等、新規顧客、既存顧客共に来店数の減少をもたらし、店舗運営に大きな影響を与えました。この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は9,101百万円(前年同期比18.0%減)となりました。



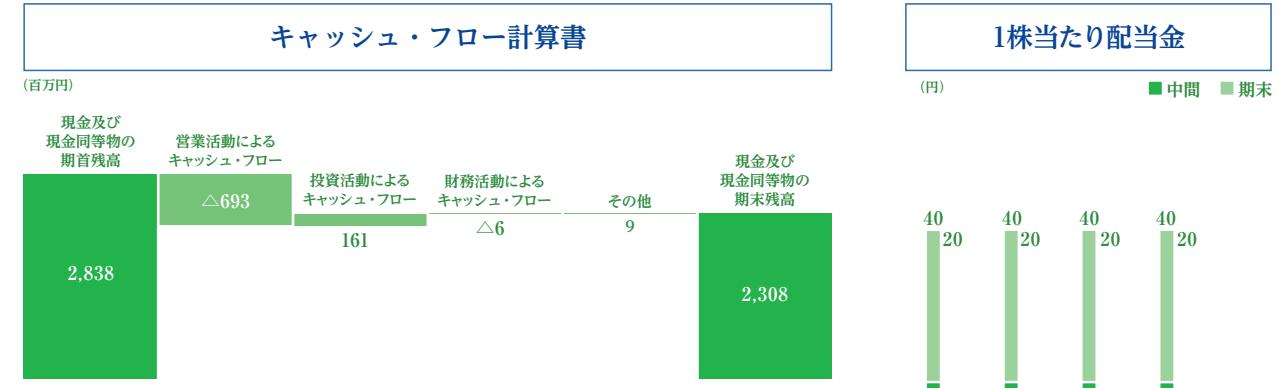
Point

利益面におきましては、売上高の減少による利益減を補いきれず、営業損失は903百万円となり、雇用調整助成金による営業外収益325百万円を計上したことから経常損失は509百万円、また店舗に関連する固定資産の減損損失63百万円を特別損失として計上したことから親会社株主に帰属する当期純損失は621百万円となりました。



Point

総資産は9,564百万円(前連結会計年度末比665百万円減)となり、その主な内訳は、現金及び預金2,323百万円、建物5,564百万円、土地1,385百万円であります。純資産は7,596百万円(前連結会計年度末比592百万円減)となり、その主な内訳は、利益剰余金6,554百万円であります。その結果、自己資本比率は79.4%、ROEは△7.9%、ROAは△5.2%となりました。



Point

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、税金等調整前当期純損失569百万円、売上債権の増加及び有形固定資産の取得による支出等の要因があったものの、定期預金の払戻による収入等により、前連結会計年度末に比べ530百万円減少し、当連結会計年度末には2,308百万円となりました。

55周年記念製品 (限定発売)

「シーボン ルミナスバイオセラム」

シーボンでは、

スキンケアは肌のリラグゼーションそのものという考え方のもと、

素肌が本来もっている美しさを引き出すことを目指し、

現代のストレス社会を生きる女性のために、55周年記念製品として

「シーボン ルミナスバイオセラム」を開発しました。

独自開発成分のカラー花酵母エキス^{※1}をはじめとした

4つの植物成分を独自にブレンドした

「ルミナスバイオEX^{※2}」を配合。

肌に溶け込むようになじむエマルジョンタイプのテクスチャーで、

うるおいのヴェールが肌に均一に密着しうるおいが持続。

肌ストレス^{※3}をケアすることで、

未来のエイジングダメージを恐れない、

輝きに満ちた素肌へと導きます。

※1 加水分解酵母(保湿成分)

※2 ルミナスバイオEX(保湿成分)

加水分解酵母、乳酸桿菌/ハイビスカス花発酵液、
エリンギウムマリチムムカルス培養液、ゲットウ葉エキス

※3 乾燥による

製品ネーミング

テーマは55年の集大成。そして、これからの100年に向けての第一歩として「輝きに満ちた未来へ」。

“すべての女性の人生を輝きで満たしたい”という想いを、ルミナス(Luminous)「輝く」に込めて命名しました。



製品特長

1 美顔マッサージ研究の思想を注ぎ込み、厳選した4つの成分^{※1}を独自にブレンドした「ルミナスバイオEX」を配合。肌ストレスをケアし、自然な輝きとハリをもたらします

*写真は全てイメージ

カラー



独自開発成分
「カラー花酵母エキス^{※2}」
イキキと若々しい印象へと導きます。

エリンギウムマリチムム



エリンギウムマリチムム
カルス培養液
みずみずしく弾力のあるハリ肌へと導きます。

ハイビスカス



ハイビスカス花エキス^{※3}
紫外線ダメージ^{※4}をケアし、
輝きに満ちた肌印象へと導きます。

月桃葉



月桃葉エキス^{※5}
肌にうるおいと
しなやかさを与え、
ハリを出します。

2 新技術「ルミナスネイチャー技術」を採用

肌を護りながら角質層まで
じっくりとうるおいを届ける浸透技術



うるおいが長時間持続し
肌を均一になめらかに整える持続技術

3 ローズとゼラニウムを基調とした優しいフローラル調の香り

※1 すべて保湿成分

※2 加水分解酵母(保湿成分)

※3 乳酸桿菌/ハイビスカス花発酵液

※4 乾燥による

※5 ゲットウ葉エキス

千葉県君津市・株式会社テクノブル・シーボンが共同記者会見を開催
～君津市のカラー花の酵母を化粧品に～

2020年11月26日千葉県君津市定例記者会見において、君津市(市長 石井宏子)、株式会社テクノブル、シーボンが、君津市のカラー花の酵母を利用した美容液「シーボン ルミナスバイオセラム」に関して、配合成分や製品開発背景について共同記者会見を行いました。

千葉県君津市は平成の日本名水百選に選ばれたほど水質に恵まれ、湧水が豊富な地域。君津市の小糸地区では、その水を利用してカラーの栽培が行われています。化粧品への展開は、化粧品素材メーカーである株式会社テクノブルが君津市に働きかけ、2017年から基礎研究を開始。2018年にシーボンに化粧品素材として提案、カラー花酵母エキスの有用性に期待して共同研究に着手しました。

その結果、カラー花酵母エキスの機能に関する発見について、2020年6月に開催された第119回日本皮膚科学会で研究成果を共同で発表しています。



左から 君津市長 石井宏子氏、当社取締役 三上直子、
株式会社テクノブル 代表取締役社長 澤木茂豊氏



カラーの名は、ギリシャ語の「美」という意味の「カロス」から生じたと言われ、花言葉は「乙女のしとやかさ」「壮大な美」です。



常に水が流れ出している自噴井戸